

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	青少年健全育成団体等連携・後援事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課				
施策	3-3	次代を担う青少年を育てる地域環境づくり		主管課長	恩田 一成				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	青少年健全育成団体	意図	市民と行政との協働により青少年健全育成の推進に努める。
事業内容	青少年を主体とした事業の検討を青少年健全育成団体と行うとともに、青少年を対象とした各種の事業の後援を行った。			
事業開始から現在までの状況変化	青少年育成会議、青少年相談員連絡協議会、子ども会育成連絡協議会、ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会と連携を図り、良好な関係を構築してきた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	団体の事業数	74	74	62	事業
②	子どもの育成活動を行っている市民の割合	17.30	18.90	17.60	%	↑↑	まちづくり達成度アンケート
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

- ・青少年育成会議の啓発活動、親子たこあげ大会、青少年健全育成推進大会といった青少年関連の事業連携のほか、市民まつり、ロードレース大会などの市の事業への協力も行いながら、青少年の健全育成を進めている。

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	376,500	343,250	335,600
事業費(b)(円)			
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)			
人役・職員(人)	0.05	0.05	0.05
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	青少年を対象とした事業を後援するとともに、連携事業にも取り組む。	③取組の課題	生涯学習推進基本構想の第2節に位置付けた事業を推進する際の青少年健全育成団体との連携の整理。
②今年度(H29)に実施した取組	流山市青少年育成会議では、千葉県警察本部から講師を招き「薬物乱用の現状と対策」の研修を実施した。	④今後(H30以降)の改善計画	市からも新しい情報を提供支援し、事業に新しい発想を取り入れられるよう誘導する。